

設備投資は製造業を中心に堅調

～効率化投資も増加傾向～

～第30回熊本県内設備投資動向調査～

研究員 林田 祐子

「第137回熊本県内企業業況判断調査」の特別テーマとして設備投資動向調査を行い、2024年度実績、2025年度見込み、2026年度計画を調査した。

【調査概要】

1. 対象企業	県内主要企業 574社
2. 調査時点	2025年11月1日～11月28日
3. 回答状況	回答企業 200社

1 2024、2025年度設備投資額の動向

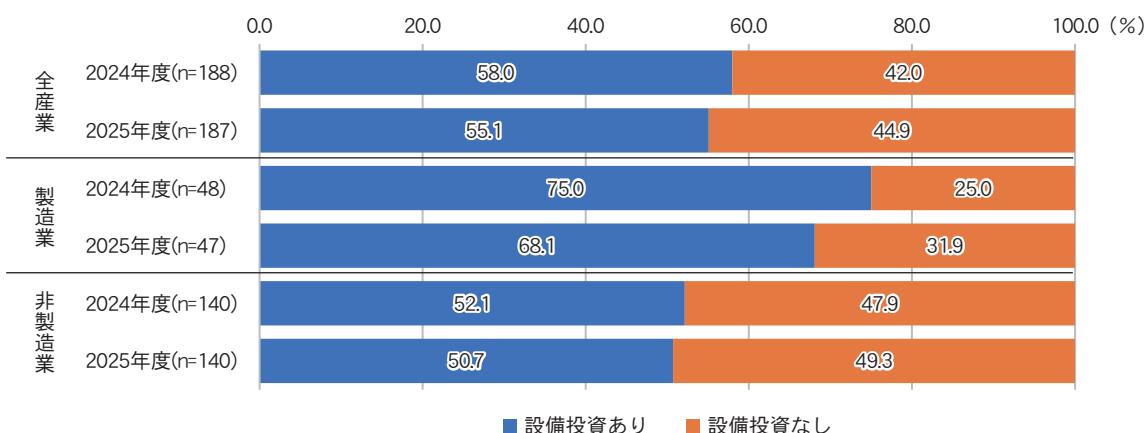
(1)設備投資の有無

設備投資の有無は、全産業の「設備投資あり」が2024年度実績で58.0%、2025年度見込みで55.1%となった（図表1）。

業種別にみると、製造業で2024年度実績が75.0%、2025年度見込みが68.1%となった。非製造業では、2024年度実績が52.1%、2025年度が50.7%となり、製造業が非製造業を上回り業種により差が生じている。

自由回答では、「設備投資では、社員の働く環境改善を優先する」や「雇用への配慮も含めて、設備を更新する」「IT化による作業の効率化が最優先」などの声が聞かれ、雇用の維持や人材確保に向けた職場環境の改善を重視した設備投資を実施する企業も見られた。

図表1 設備投資の有無（2024年度、2025年度）



自由回答（一部抜粋）	業種
雇用への配慮を含め、設備を更新した	卸売業
IT化による事務作業の効率化が最優先である	事業所サービス業
社員の働く環境改善を優先した設備投資を実施	個人サービス業

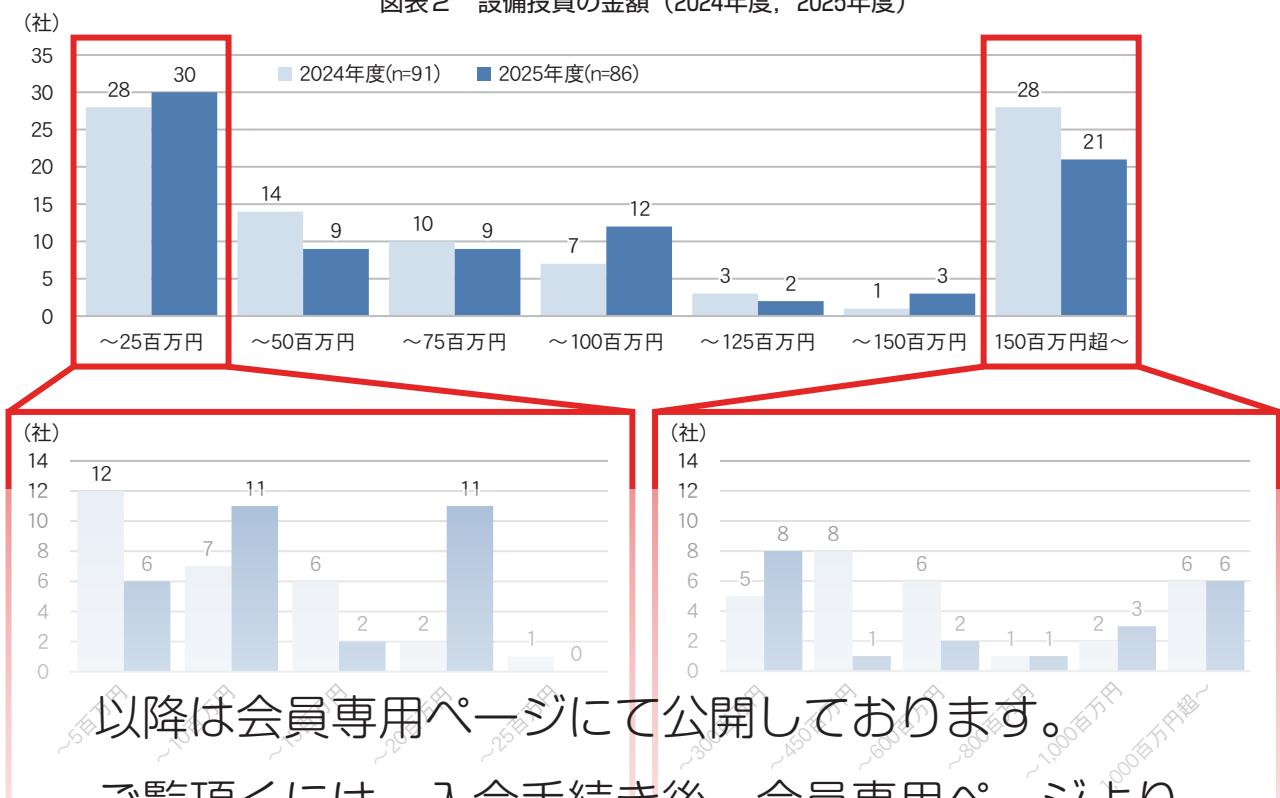
(2)設備投資の金額

設備投資額は、2024年度・2025年度ともに「～25百万円」が最多となった（図表2）。一方で、「150百万円超」と回答した企業も一定数存在した。

「～25百万円」と回答した企業の内訳を見ると、2024年度は「～5百万円」が最多であったのに対し、2025年度は「～10百万円」および「～20百万円」が最多となり、2025年度は2024年度と比べてやや高い金額帯に分布が移っている。

また、「150百万円超」と回答した企業の内訳を見ると、2024年度は「～450百万円」、2025年度は「～300百万円」が8社となった。なお、「1,000百万円超～」（10億円超）の高額な設備投資を実施する企業も、製造業や建設業を中心に各年度6社見られた。その内容では、「補助金を活用した新規出店や工場の新設」等が挙げられた。

図表2 設備投資の金額（2024年度、2025年度）

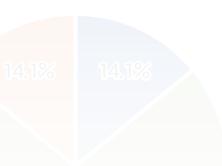


2 当初計画に対する2025年度設備投資

(1)設備投資の見込み

2025年度設備投資の当初計画に対する見込みについては、「計画を上回る」が11%、「計画通り」が71.9%、「計画を下回る」が17%でした。

図表3 当初計画に対する2025年度設備投資



会員の方はこちらから